

あやべ 市議会だより

AyabeCity
Assembly
News Report

2017年(平成29年)
8月発行

No.118

発行/綾部市議会 綾部市若竹町8の1 綾部市議会事務局 TEL・FAX (0773)42-1259

E-mail/gikajimukyoku@city.ayabe.lg.jp ★ホームページのアクセスは、検索画面で を入力してクリック!



於与岐町中川原の川あそび (なかよし園)

6月定例会 本会議のライブ中継を開始

委員会の審査内容……………	2	一般質問……………	5
議会報告会……………	3	政務活動費の公開……………	11
9月定例会の日程予定……………	3	議長交際費の公開……………	11
議決結果の一覧……………	4	次世代からのメッセージ…	12

平成29年6月定例会を6月13日から6月30日までの18日間の会期で開催しました。

本定例会では市長から提案された議案38件と議会から提案された議案1件を審議しました。議案は、いずれも原案のとおり可決・承認・同意しました。(採決の結果は4ページに記載)

上程された議案は、3つの常任委員会に付託され、審査しました。その内容は次のとおりです。

総務教育建設委員会

付託された9議案は、原案のとおり可決・承認

●新築借上型市営住宅が設置されます

味方町に新しく借上型市営住宅が設置されることにより、条例の一部を改正するものです。

質疑の中で、「昨年設置の借上型市営住宅の入居状況は」との質問に対し、「全室入居中である」との答弁がありました。

また、「入居者の対象は決まっているのか」との質問に対し、「1LDKは単身者向け、2LDKは世帯者向けと考えている」との答弁がありました。

採決の結果、全員賛成で可決となりました。



すでに入居されている借上型市営住宅(大島町)

●市道5路線が認定及び変更されます

味方中ノ坪3号線、八反岩鼻線、安国寺上背戸2号線の3路線について、開発による整備及び自治会からの申請により認定するものです。

また、郡是裏線は交差路線の整備に伴う起点の変更、神宮寺線は自治会からの申請による終点の変更をするものです。

質疑の中で、「八反岩鼻線整備区域の水路流末が素掘りの水路のままであるが、そのままでもいいのか。協議はされたのか」との質問に対し、「深く掘れないように水路流末箇所に『ふとんかご』が設置されており、水路の勾配も安定しているため、素掘り水路に大きな影響はでない。協議については、隣接者、地権者や水路の利用者にも同意を得ている」との答弁がありました。

採決の結果、全員賛成で可決となりました。

その他7議案について審査を行い、採決の結果、全員賛成で可決及び承認となりました。

同意した人事案件

●固定資産評価員の選任

白波瀬 清孝さん(湊垣町) = 新

●固定資産評価審査委員会委員の選任

川北 徹さん(栗町) = 再

四方 泉さん(里町) = 再

●農業委員会委員の任命

植田 壽良さん(物部町) = 再

梅原 茂昭さん(七百石町) = 新

梅原 久夫さん(仁和町) = 再

雨林 利治さん(高津町) = 新

大槻 耕治さん(館町) = 新

大山 勇さん(睦合町) = 再

柏原 明宏さん(上杉町) = 新

鎌部 勉武さん(五津合町) = 再

久後 靖代さん(和木町) = 新

相根 謹一さん(篠田町) = 新

塩見 和明さん(有岡町) = 再

四方 諭さん(味方町) = 新

白波瀬 一幸さん(鷹栖町) = 新

高橋 大治郎さん(忠町) = 再

林 多嘉子さん(月見町) = 新

福井 智徳美さん(位田町) = 再

三和 喜治さん(上八田町) = 再

森方 義孝さん(私市町) = 新

渡邊 要治さん(睦寄町) = 新

◆あやべ市議会だより第117号に誤りがありました。3ページ(誤)隣保管事業 → (正)隣保館事業
お詫びして訂正いたします。

●水道水の大口使用者に対し、個別需給給水契約制度が導入されます

平成29年9月末に完成予定の新第一浄水場の供用開始に伴い、新浄水場の施設能力の有効活用を図り、給水収益増加による水道事業の経営基盤の強化及び大口使用者の業務拡大による地域経済の活性化、さらには水道使用者へのサービス向上につなげることを目的に、給水能力の範囲内で定めた水量を超えて使用する大口使用者に対し、通常とは異なる料金単価で水道水を供給する個別需給給水契約制度を導入しようとするものです。

質疑の中で、「現在の大口使用者には、今後、個別需給給水契約をしてもらうというこ

とになるのか」との質問に対し、「2カ月で6,000㎡以上の使用実績があるなどの要件を満たす使用者については契約の対象となる。10月以降に募集を行い、要件を満たしていれば契約することになる」との答弁がありました。また、「対象となる大口使用者は、どれぐらいあるか」との質問に対し、「平成28年度において、対象となるのは、医療関係、工場関係、福祉関係で4件程度ある」との答弁がありました。

採決の結果、全員賛成で可決となりました。

その他2議案について審査を行い、採決の結果、全員賛成で可決となりました。

●平成29年度一般会計補正予算（第1号）

コミュニティ活動推進団体事業補助金、上林地域振興支援センター整備事業費、上林出張所（仮称）整備事業費、学力向上システム開発校事業費、志賀郷公民館改修事業費など、総額1億4773万円の追加予算を計上するものです。

質疑の中で「志賀郷公民館改修事業費について、現在の状況や今後の方向性は」との質問に対し、「小さな拠点として取り組んできたなかで、タイミングがよかった。志賀郷地区の連合会と小さな拠点の実行委員会のメンバーが集まり、公民館の活用について検討されている。今後も関係課と連携し、公民館活動が充実するよう努めていきたい」との答弁

がありました。

また、「学力向上システム開発校事業費について、中筋小学校で2年間実施されたが、どのように総括をされるのか」との質問に対し、「京都府内各地から学校教員が集まり研究成果の発表がされ、自校に持ち帰る。また研究冊子をつくり、府内各校に広める」との答弁がありました。

採決の結果、全員賛成で可決となりました。

その他、特別会計の補正予算と専決処分事項の報告の2議案について審査を行い、採決の結果、全員賛成で可決及び承認となりました。

平成29年9月定例会の日程予定

9月定例会は、9月5日から10月16日までの42日間の会期で予定しています。

- 9月5日(火) 本会議
(議案上程 人事案件採決)
- 11日(月) 請願受理締切り(正午)
- 12日(火)～14日(木) 一般質問
- 15日(金) 予算決算委員会(総括質疑)
- 19日(火) 総務教育建設委員会
- 20日(水) 産業厚生環境委員会
- 21日(木) 予算決算委員会(予算審査)
- 25日(月) 本会議(採決)
- 10月2日(月)～10月10日(火)
予算決算委員会(決算審査)
- 10月16日(月) 本会議(採決:決算議案)

平成29年度 議会報告会 「市民と議会のつどい」を開催しました

今年度で第7回目となる議会報告会は、今回から「市民と議会のつどい」として5月10日から19日にかけて、市内12地区において開催しました。つどいには過去最高の259人の方にご参加いただき、平成29年度予算議案等の報告を行った後、意見交換を行い、▼防災対策▼有害鳥獣対策▼定住促進▼地域振興▼道路改修▼除雪関係ーなど、市政全般にわたり152件のご意見やご要望などをいただきました。これら貴重なご意見やご要望につきましては、今後の市政に生かすため、7月4日に安藤議長から山崎市長に報告書を提出し説明を行いました。



議決結果の一覧

会議結果 (○=賛成、×=反対)

件名	結果	民政会		創政会		共産党		新政会		公明党	心友会					
		相根 一雄	種清 喜之	高倉 武夫	吉崎 進	松本 幸子	波多野文哉	荒木 敏文	高橋 輝	堀口 達也	池頭久美子	吉崎 久	井田佳代子	久木 康弘	村上 宣弘	片岡 英晃
市長提案の議案																
議第47号	一般職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
議第48号	市税条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
議第49号	地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
議第50号	道路標識の寸法に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
議第51号	市営住宅設置及び管理条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
議第52号	上水道給水条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
議第55号	旧清掃工場解体撤去工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
議第56号	損害賠償の額を定めることについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
議第57号	市道路線の認定及び変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
平成29年度補正予算																
議第53号	一般会計補正予算 (第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
議第54号	簡易水道特別会計補正予算 (第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
人事案件																
同第1号	固定資産評価員の選任について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第4号	農業委員会委員の過半数を認定農業者等又は農業委員会等に関する法律施行規則第2条第1号イからヌまでに掲げる者とする事について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第5号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第6号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第7号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第8号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第9号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第10号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第11号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第12号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第13号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第14号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第15号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第16号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第17号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第18号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第19号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第20号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第21号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第22号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
同第23号	農業委員会委員の任命について	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
専決処分事項の報告																
報第1号	市税条例の一部改正について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
報第2号	市立幼稚園保育料等に関する条例の一部改正について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
報第3号	消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
報第4号	平成28年度一般会計補正予算 (第7号)	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
議会提案の議案																
議会第3号	市議会会議規則の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○					

※議長は採決に加わっていません。

議員の表彰

第93回全国市議会議長会定期総会において、高倉武夫議員、吉崎進議員、高橋輝議員、安藤和明議員が議員在職10年の表彰を受けました。

一般質問

6月20日から22日の3日間にわたって17人の議員が市政全般について質問を行いました。ここでは一般質問の要旨を掲載します。(掲載は登壇順)

進 崎 吉 政 会 民

市立病院に立体駐車場を 認知症サポーターのさらなる増加を

Q 市民の方から、市立病院に行ったが駐車場がいっぱいで止めるところがなかったという声を聞いた。市としては今日まで駐車場確保に努力をされてきていることは承知をしているが、近隣市においては、立体駐車場を設けているところもある。本市も設置の検討を願いたい。

A これまで病院としては、株式会社グンゼ様の協力を得ながら、駐車場用地の借り上げや近隣用地の買い上げで対応してきた。立体駐車場の建設については、費用対効果を勘案する中で、現時点において整備までは考えていない。

Q 市立病院のバス停には現在屋根がない。バス用シェルター及び玄関までの屋根付き通路設置の検討を願う。

A 利用者様の安全対策上、少し課題もあるのではないかと考えている。安全性、利便性を考慮して慎重に考えていきたい。認知症に対する偏見をなくす教育が重要であり、「住み続けられる」まちづくりが大切である。認知症サポーターのさらなる養成、増加を願う。

A 地域に住む方々が、認知症に対する理解を深めていくことは大変重要なこと。自治会への働きかけや広報等で、養成講座の開催PRに努めていく。



市立病院のバス停

武 倉 高 政 会 民

行政情報周知手段の課題は、クマ出没時の対応は あやバスの運行状況は

Q 自治会連合会を介しての市の情報は、発信側の意思が十分伝わっていないのではないかと。行政側の意思を十分伝えるということについては、発信側、受け手側双方に課題があると思うが。

A 効果的な伝わり方を意識し、複合的な手法を組み合わせる必要がある。行き違い、思い違いがあるのなら、自治会連合会と協議し、解決を図っていく。

Q 市内のクマの目撃情報はすべて担当課で把握できているのか。また、目撃情報を受けた場合の市の対応は、住民の対応についても、さらなる指導を要望する。

A 目撃情報の全てが市に寄せられているわけではない。今後も市へ通報していただくよう周知していく。目撃情報を受けた場合には、各地区自治会連合会、京都府、警察等関係機関、学校関係へ注意喚起のための情報提供を行っている。

Q 平成27年度ダイヤ改正以降のあやバス利用状況は。また、運行路線空白地域に対する考えは。

A 平成27年度は4・25%増加、平成28年度は1・76%減少した。運行路線空白地域については、自主運行補助制度の活用を検討いただきたい。



捕獲歴のあるクマ

心友会 塩見 麻理子

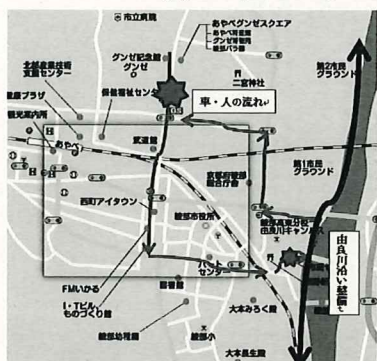
まちなか交流・定住整備のさらなる推進を

Q グンゼスクエア周辺の車・バイク・人・自転車等の流れを西町アイタウンから大本・市民センター横へ循環させるソフト・ハードの整備が必要。旧市民センターをまちなかの拠点とし、由良川沿線も視野に入れた、ルートの考案と各種整備を行わなければ流れはできないのでは。

A 平成28年のグンゼスクエアの入込み客数は、15万3550人であり、まちなかへの周遊の流れもできつつある。旧市民センターの跡地利用については将来を見据えた活用を検討中。まちなかマップの作成については、観光協会が海の京都の支援を受け、飲食店を中心とした散策マップをつくるなど充実させることを検討している。

Q 相生町周辺は、若者にとって最高の住宅環境だが、空き家・空き地があり、道路が整備されず、建替え不能な地域がある。昨今は、若手の働き手不足の実態もある。市が高齢化率や少子化率などを調査公表し、住民の意識啓発を行い、市営の若者住宅などを考えては。

A 道路が狭く建替えができずに、空き家・空き地になったものもあると思われるが、現段階で道路整備等の計画はない。利便性の高い地域であり、借上り、借上り型市営住宅建設の応募に期待する。



人・自転車・車の流れをまちなかで

日本共産党 搦頭 久美子

「働く貧困」の実態から市の施策として保育料引き下げを

Q 「働く貧困」は子どもの貧困とも連動するが、その実態と見解は。

A 総務省統計で、労働者に占める非正規従業員は37・5%で増加傾向。国税庁によると年収200万円未満の労働者の割合は23・6%で若干増加。「貧困家庭」の存在は認識しているが、年収200万円未満の中には非正規を希望する方もある。市内でも新規求職者においては、正規雇用よりパート職のニーズが高い。

Q 子育てしやすい労働条件なら正規として働きたいが、非正規を選ばざるを得ない現状がある。またハローワークで技術職は求人倍率が高いが、事務職は0・36倍。労働基準法の改悪後から「働く貧困」が増加し、厚生労働省も若年層の収入増加が大切と言っている。行政の施策として保育料の引き下げを求めるが見解は。

A 国・府の減免制度等の実施で、保育料は世帯の状況や支払い能力に応じた保育料の設定をしている。

Q 福知山市や舞鶴市の保育料と比較した綾部市が総体的に一番高い。より所得に応じた保育料とするため、他市のように所得階層の細分化が進められないか。

A 一般財源からの支出が増えると結果的に市民の負担が増える。低所得者にはある程度細分化をしたので理解してほしい。



市内の保育園

民政会 松本 幸子

発達障害児への学校、放課後学級での対応・支援は中筋地区の街路灯設置は

Q 2012年の文部科学省の調査で、発達障害の特徴を示す子どもは全体の約6・5%で、15人に1人と公表された。本市でも増加していると推測できるが、学校、放課後学級での対応・支援は。

A 16名の市の支援員と7名の介助員、4名の府の特別支援教育指導員を配置し、教室内での生活・学習上困難がある子どもたちの支援や介助を行う。放課後学級では研修を受けた7名の加配職員が、対象児童に適切な支援を行っている。

Q 中筋地区では中筋商工繁栄会が解散し、32基の街路灯が撤去され府道沿いが大変暗い。また高津駅から広域農道にかけ1基もない。ここへの街路灯設置を要望する市民からの声があるが。

A 平成29年度には鳥ヶ坪自治会、大島町東・中自治会で設置計画がある。集落間の交通安全灯については、今年度から別の制度を新設したので活用されたい。

Q 医療的ケア児・重度身体障害児を抱える家庭には、特別児童扶養手当が支給されるが、経済的には厳しい。就学前の子を預けられる施設が本市にはないが、その支援はどうなっているか。

A 週1回の通所として療育教室がある。近隣には舞鶴こども療育センター、亀岡市に花の木医療福祉センターがある。



中筋地区の放課後学級

日本共産党 井田 佳代子

災害時、車での避難・車中泊避難をどのように考えるのか

Q 避難行動は、単独行動を避け、歩いての避難を呼びかけられている。熊本地震の経験から「車で避難・車に避難」をする人が多くなることは避けられないのではないのか。

A 熊本地震では、震度7の揺れ、余震が続くなど車中泊避難が多かったと認識している。災害時、緊急車両の通行確保は重要。多くの車避難は混乱が懸念される。広域避難の場合、歩行困難など特別の事情がある以外推奨できない。

Q 京都府は、熊本地震の例から、亀岡市をモデルに車中泊避難を想定した検討をしているが綾部市ではどうか。

A 大規模災害時、車中泊避難を想定した大型駐車場のリストアップなど5項目の対応方針が示された。まず避難場所のリストアップから検討したい。

Q 京都府では、事前に車中泊避難についての説明はしないとしているが、車中泊避難可能な場所や注意など、災害発生までに市民に知らせることが必要と考えるがどうか。

A 車での避難は決して推奨できることではない。事前には知らせることにすることは、現時点では具体的な場所が選定されていない。今後検討を進めていきたい。



危機管理ハンドブック

創政会 荒木 敏文

上水道事業の収入増加策で水道料金改定幅の抑制を

Q 新第一浄水場が10月に供用開始されることから、浄水能力が高くなるのを活用し、大口使用者を対象に個別需給給水契約制度を導入するが、この制度はどのような制度で、その対象要件及び目的は。

A この制度は、2カ月で6000m³を超える大口使用者と個別契約をすることにより、6000m³超過分を通常とは異なる単価で水道水を供給する制度。浄水能力を有効活用して給水収益を増加させ、水道の経営基盤の強化等により、水道使用者へのサービス向上につなげようとするものである。

Q 市民への給水に影響はないこと、市民の水道料金はこれまでどおりであることは確認できたが、大口使用者と個別需給給水契約を結ぶことで、どのくらいの収益増が見込まれるのか。また収益増によって現在の水道事業、ビジョンの料金改定時期が、先送り又は料金改定の幅が抑制されるのではないのか。

A ビジョンでは、平成35年度には内部留保資金が枯渇するため、料金改定の検討が必要になるが、制度導入で水の有効活用ができる、年間約2000万円の純益増になり、枯渇を1年先送りできると試算している。また料金改定幅の抑制にも寄与するものと期待している。



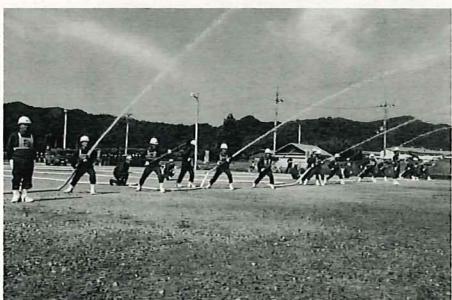
完成間近の第一浄水場

新政会 久木 康弘

綾部市消防団団長点検「半世紀を祝う記念式典」について問う

Q 団長点検を語る時、各分団において分団点検資料の表紙に第〇〇回と表記した冠がないのはなぜか、さらに節目の年を祝い、記念する事業が今日まで全くなかったのはなぜなのか。そもそも第1回のスタート年は何年であり、現在は第何回になるのか。平成25年6月議会で質した経緯がある。この質問を契機に2、3分団において回数を表記されているが、全分団に徹底されていない。この際、大きな歴史の節目を迎えるに当たり徹底してはどうか。さらに数年後の半世紀を祝う式典等のイベントをどのように企画するのか、今から検討に入ってはどうか。

A 各分団点検資料の回数表記については平成25年6月の一般質問で提案いただき、趣旨について各分団に伝えたが、残念ながら表記されていない分団もある。再度、回数の表記の徹底を図りたい。団長点検が半世紀の節目を迎えるに当たり、歴代の消防団幹部の方々が地域防災の守り手として、日々たゆまぬ努力によって今日の消防団を築き上げられた。来る年には記念式典、あるいは特別企画等、今後消防団、団本部、消防本部で協議されると思っており、その検討結果を最大限尊重したいと考える。



団長点検の様子

小中学校教員の働き方改革を 外国人材の活用は

民政会 種清喜之

Q 本市小中学校の児童生徒が、学校生活の態度や学力が極めて良好な現状の裏では、業務が多様化・複雑化する中で頑張り続けておられる先生の姿がある。そこで、教員の長時間勤務を解消するために、中学校の部活動指導や小学校高学年の技能教科などで外部人材を活用してはどうか。

A 中学校の部活動においては、府の運動部活動指導者派遣事業を活用し、市内では4中学校6クラブに6名の外部指導者を派遣しており、今後も派遣事業を有効活用したい。小学校の教科担当の外部人材活用については、現状では国や府に制度がなく、今後要望していきたい。

Q 本市の有効求人倍率は極めて高い状況で推移し、市内でも人材不足が叫ばれている。将来、推計人口を見ても生産年齢人口の減少が進み、深刻な人材不足が予想される。そこで、一つの対策として外国人材の活用が各方面で検討されているが、本市の見解を問う。

A 文化・習慣の違いによるコミュニケーション不足など課題もあるが、新たな労働力として期待すべき点の方が大きい。

6月1日に、市内法人と大学、タイの工科大学の三者でインターンシップ協定が締結され、今後、優秀な外国人材の確保や産業発展につながることを期待している。



小学校の授業風景

民政会 相根一雄

地域の振興、安心・安全を

Q 公共事業によるインフラ整備は災害の除去、地域振興において重要な事業である。今後市としての方針は。

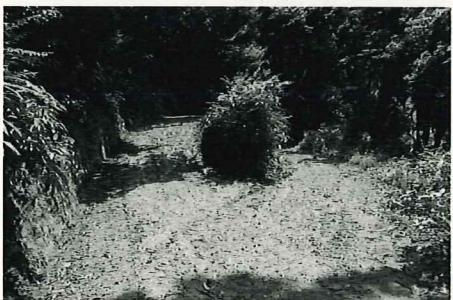
A 自然災害、原子力災害に備えた道路整備や河川整備の推進に加えて、産業・観光振興や定住促進につながるインフラ整備を行うしていきたい。

Q 過疎高齢化の本市において防犯灯や街路灯は安全・安心の基本構造物である。その設置状況と今後のLED照明化推進についての考えは。

A 集落内の防犯灯については、自治会等で設置・管理をお願いしている。LED照明化について設置費の一部補助を行うとともに、集落間の防犯灯についても補助制度の拡大を図っている。

Q 本市は、面積の77パーセントが森林であり、森林経営計画の策定を推進するとともに林業推進計画をどのように進めるのか。

A 森林経営計画の推進は、森林整備と木材の有効活用が進み地域の安全・安心の向上、地域産業の振興、雇用の創出につながる。人工林資源の循環型利用に向けて、府や国の補助制度を活用し「森が宝の山」となるように各種事業を積極的に実施する。



整備された林道（篠田町）

新政会 片岡英晃

山を活用した観光振興の実践を 市内を巡るハイキングコースを整備しては

Q 綾部の市街地には四尾山があり、近年整備が進んでいる。市民講座も開催され、市民から改めて注目されている四尾山を含め、市街地が隣接しているというメリットを生かした山を活用した観光振興の仕組みづくりができないか。

A 四尾山へのトレッキングコースは、新たな体験プログラムとして活用できる可能性を持つ観光資源の一つと認識している。市民の発意により整備された登山道が有効に活用されるよう支援やPRを検討していきたい。

Q 今、山と親しもうとするニーズがある。この機会を逃さず、山を観光資源とした観光振興が必要。トレッキングコース等の整備に力を入れるべきではないか。

A 観光協会等と連携を図り、一定の体制整備をした上でトレッキングコースを商品化し、森の京都DMO等を通じてPRと販売につなげていきたいと考えている。

Q 綾部には多くの名所がある。それらを一繋ぐハイキングコースの整備を進めてはどうか。また、観光案内などにはスマホ等のITを活用しては。

A 京都府でスマホを活用した観光情報発信の事業化が進んでいる。そのシステムを活用などを研究する中で、ハイキングコースの設定については検討したい。



整備された登山道（四尾山）

新 政 会 村 上 宣 弘

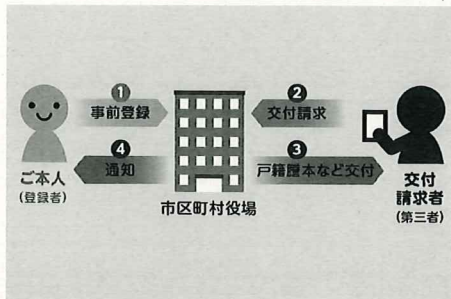
エネルギー資源・小水力発電導入の可能性は
登録型本人通知制度の周知・拡大を

Q 資源の枯渇の恐れが少なく、環境への負荷が少ない再生可能エネルギーの導入を一層進めることが必要である。その中でも小水力発電が有望と考えたメーカーによる、上下水道施設を利用したシステムが開発されたが、本市において導入する可能性は。

A 上下水道については大口径の水道管で、高低差による圧力差が大きく、給水水圧や送水ポンプ等に影響がないところが候補となるが、本市には候補箇所がない。下水道についても規模的に処理水量が少なく、処理水の落差も小さいため導入は難しい。環境配慮、経費節減、収益確保の観点から動向に留意したい。

Q 登録型本人通知制度とは、住民票の写しや戸籍謄本などを本人の代理人や第三者に交付した場合に事前に登録した本人に通知する制度であるが、周知不足と考える。現在どのように市民に周知されているのか、今後の考えはどうか。

A 綾部市のホームページや広報ねっと、人権福祉センターだよりに掲載している。各種研修会、講演会での登録依頼もしている。各市町村の対応がまちまちであるため、本制度の法制化に向けて、法務省、総務省に要望を行っている。



事前登録の流れ

日 本 共 産 党 吉 崎 久

どうする、今後の綾部の農業

Q 米政策の見直しで、来年から米の直接支払交付金が廃止される。このことにより「何とか頑張ってきたが、もう米づくりはやめよう」の声がある。この声にどう応えるのか。

A 農林水産省では、米の直接支払交付金が廃止されてもさまざまな制度が準備されているので、すぐに離農につながることはないと考えている。

Q 米の価格が生産費を保障できていない中で、直接支払交付金が果たした役割は大きい。この制度で中山間地であっても多面的機能含めて農地を保持してきたことは確実だ。今後農業者が生産目標を自分で立て、販売先も自らで確保することが本当にできるのか。

A 直接支払交付金は、収入確保に一定の役割を果たしてきた。その一方で関税に守られた米に交付金を出すことは国民の理解が得られないなどの問題もある。各種の制度利用で農地を守り、水田の多面的活用で農業所得の確保を図ることが必要と考える。

Q 共済制度の見直しで、水稲共済の廃止が検討されているがどうか。

A 新しい収入保険制度との選択制で実施される。収入保険制度は、品目の枠にとらわれない保険制度になる。



稲作の様子

創 政 会 高 橋 輝

農家が生き残るための支援策の検討を

Q 米価が下落し、生産コストを割る中、農政が大きく変わり、今後さらに生き残れる農家と生き残れない農家の差が激しくなる。国の政策だけでは、多くの綾部の農家は取り残されてしまう。そんな中、綾部には販売力を持った農家や農業法人があるので、販売農家の育成と支援を行うことはどうか。

A 個々の営業については自助努力なので具体的な支援は考えていない。市が事務局をもって運営や事業展開を支援している認定農業者と集落営農の団体がある。経営支援については、府の支援事業を活用していきたい。

Q 森の京都でジビエフェアを行い、綾部の飲食店がシカやイノシシを使った料理を提供している。地元食材を生かした商品開発へ支援を行ってはどうか。

A 農業ビジネスを支援する制度が、国や府に用意されているので、その制度を活用していただきたい。

Q 綾部のような地域で、農地を守るためにがんばっておられる農家の方々への支援を検討できないか。

A 経営規模の小さな農家でも、集落営農を旨とする地域があれば、市としても組織を立ち上げるなど支援していきたい。



米の収穫の様子

日本共産党 堀口達也

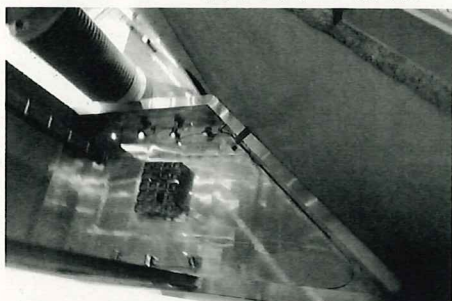
使用済み核燃料の原発敷地内保管の見解は 商店や商店街活性化の支援策を

Q 原子力発電所内の使用済み核燃料保管プールは数年で満杯になると言われている。頼みの青森県六ヶ所村の核燃料リサイクル工場は未だに完成の目途が立っていない。この使用済み核燃料の保管について、高浜町長が高浜原発敷地内で保管することも選択肢との認識を示したと報道されているが、見解を求めます。

A 使用済み核燃料や高レベル放射性廃棄物の中間貯蔵を含む最終管理体制については、エネルギー政策に責任を持つ国において対処すべきである。高浜町長が敷地内での受け入れを表明された事実は報道を通じて承知しているが、詳細を承知しておらず、コメントは差し控えたい。

Q 最近、京都北都信用金庫が発表した景況調査では、府北部の各業種とも景気は悪化し、特に福知山・綾部地区の小売業はマイナス55・7と悪い状態と報告されている。消費を喚起する施策、綾部特産品や地産地消などで小売業や商店街活性化策などの支援が必要では。

A 市内の商店では小売業を取り巻く環境は非常に厳しいと聞いている。就業者の初任給は上がっているが将来不安などで消費マインドは低下。今後商工会議所や関係機関と連携しながら商品店の魅力を高める仕掛けや支援策等を検討する。



使用済み核燃料プール（六ヶ所村原燃PR館）

公明党 森 義美

観光振興の状況は 介護ボランティア制度導入の考えは

Q 舞鶴若狭自動車道、京都縦貫自動車道の全線開通により京都府内南から北、京阪神、全国へとつながり地域間連携、活性化に大きく期待されている。また4車線化も現在進んでいる中、本市における入込み客の状況と経済効果の状況はどのようなになっているか。

A 全線開通前の平成25年の入込み客数は55万6千人、平成28年は68万3千人となり、この間12万7千人が増え、4年連続で過去最高の数字を更新している。観光消費額が増加した主な施設は、グンゼスクエア、ふれあい牧場、あやべ山の家などの報告がある。

Q 市内観光をするために自転車貸し出しがあるが、現在設置されているところはどこか、利用実態はどのようになっているか。

A 駅前の観光案内所に3台で330件、特産館に8台で18件の利用実績である。観光利用もあるが、ビジネスや買い物利用に多く使われている。

Q 高齢者の社会参加、地域貢献、健康増進に介護ボランティア制度が各地で導入されているが、その考えは。

A 本市では取り組んでいないが、多くの自治体で導入されている。課題等も含め情報収集に努めたい。

千葉市の取組チラシ

創政会 波多野 文義

実効性のある、原子力災害避難計画を 上林地域振興センターの有効活用を

Q 一定量の放射能が飛散していることが確認できてから、屋内退避の指示やバスにて避難することになっているが、放射能が飛散する可能性がある時点で、自家用車で自主避難をする体制が必要だ。

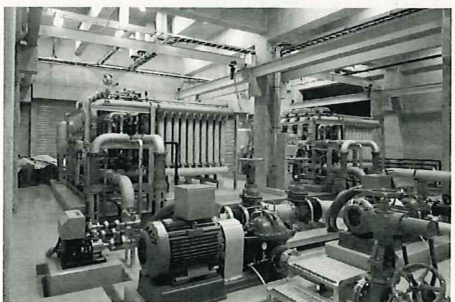
A 市の原子力災害住民避難計画では円滑な避難を実施するため、自治会ごとの集結場所からバスでの避難を最優先し、バスの確保が間に合わない場合には、自家用車により迅速に避難をしていただく。

Q 新第一浄水場は水利権分の取水が必要のため、他の浄水場での取水調整によって全体の必要水量に合わす必要がある。設備を含めた削減と、処理コストが極端に低い工業用水として利用する検討は。

A 将来的に給水量が第一と第三浄水場の規模になった時は、浄水場の統廃合も検討する必要がある。工業水道事業は、新たな専用管が必要なことや、需要見込み、費用対効果を考えると非常に困難。

Q 上林地域振興センターとその土地は、学校の近くでもあり、上林地域の核となるところ。等価交換や買取にあわせて、さらなる有効活用を検討すべきでは。

A 地元からの要望をうかがいながら、できる業務について検討するとともに、安全・安心、市民サービス、福祉サービスなど利便性の向上に努めていきたい。



新第一浄水場、膜ろ過装置

平成28年度政務活動費の収支内容をお知らせします。

政務活動費は、綾部市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、市議会議員の調査研究に必要な経費が交付されます。会派に対し、年額20万円/人 ※平成29年度交付分からは、会派に対し、年額18万円/人

詳細については、市議会ホームページ、情報公開コーナー（市役所1階）で公開しています。

【収支報告一覧表】

収入		支出					(単位：円)
民政会 (5人)	政務活動費	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	差引不用額
	1,000,000	568,153	12,000	223,875	0	0	141,237
	その他	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	支出合計	
	0	0	4,465	34,344	15,926	858,763	
支出の内訳		会派視察費（鴨川市、千葉市、雲南市、日南町）会報発行及び折込料、事務経費					
創政会 (4人)	政務活動費	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	差引不用額
	800,000	52,140	193,824	227,655	0	0	275,466
	その他	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	支出合計	
	0	0	7,667	29,508	13,740	524,534	
支出の内訳		会派視察費（武蔵野市）、研修参加（全国市議会議長会研究フォーラム）、会報発行及び折込料、新聞購読、事務経費					
日本共産党 綾部市議員団 (4人)	政務活動費	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	差引不用額
	800,000	172,097	97,000	642,690	5,045	0	0
	その他	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	支出合計	
	125,698	0	0	8,866	0	925,698	
支出の内訳		会派視察費（仙台市、いわき市）、研修参加（地方議会総合研究セミナー）、会報発行及び折込料					
新政会 (3人)	政務活動費	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	差引不用額
	600,000	236,614	0	151,883	0	0	86,231
	その他	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	支出合計	
	0	0	125,272	0	0	513,769	
支出の内訳		会派視察費（各務原市、知多市、美濃市、田原市）、会報発行及び折込料、事務経費					
公明党 (1人)	政務活動費	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	差引不用額
	200,000	0	57,920	0	0	0	142,080
	その他	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	支出合計	
	0	0	0	0	0	57,920	
支出の内訳		研修参加（全国水源の里シンポジウム）					
無会派 (1人)	政務活動費	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	差引不用額
	200,000	0	0	0	0	0	200,000
	その他	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	支出合計	
	0	0	0	0	0	0	
支出の内訳							

※1 差引不用額は市に返還しました。 ※2 収入の「その他」は自己負担分です。

平成28年度議長交際費の支出内容をお知らせします。

平成28年4月から平成29年3月まで支出した議長交際費について報告します。

詳細については、ホームページで公開しています。

(単位：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	
御祝	16,000	25,000	10,000	11,000		5,000	5,000	15,000	10,000	28,000	8,000		133,000
弔費		10,800				8,100			21,600	13,100	13,100		66,700
会費					3,000		15,000		7,000	12,000			37,000
その他			20,000					5,000					25,000
月計	16,000	35,800	30,000	11,000	3,000	13,100	20,000	20,000	38,600	53,100	21,100	0	261,700

※「その他」は協賛金等です。

次世代からの メッセージ

中筋バレーボールクラブ (部員数 8名)

昭和59年に「中筋少女バレーボールクラブ」が発足し、その後「中筋男子排球部」が誕生しました。現在は「中筋バレーボールクラブ」として男女混合チームでも活動されています。

バレーボールを通じて、心身を鍛え、心豊かで健全な児童の育成とバレーボール技術の向上を目標にされています。

また、子どもたちの無限の可能性を信じ、感動を求めて「すばらしい友だちとの出会い」をクラブの伝統にされています。

将来の夢・目標は？

- ・アタックをいっぱい決めるバレーボール選手。
- ・友だちとお笑い芸人。
- ・お菓子がつくれるからパティシエ。
- ・バレーボールが強くなること。
- ・目標は京都大会で勝つこと。将来の夢は普通の社会人。
- ・スポーツができて、賢い大人になりたい。
- ・将来の夢はパン屋。目標は相手の手と行動を見て、どんなボールも拾えるようなレシーブができること。決まるようなアタックとトスが上げられるようにする。サービスエースを決めてみんなを楽にさせる。カバーができる範囲のボールは取りにいけるようにする。みんなより大きな声を出す。
- ・中筋のチームでの目標は、みんながしっかりレシーブを上げたりサーブが確実に入ったりするチームになりたい。将来の夢は優しく対応できる看護師。
- ・将来は、赤ちゃんが好きで赤ちゃんのお母さんの役に立ちたいから保育士。また私のお母さんが保育士だったから、それを受け継ぎたい。目標は京都大会で優勝。そして全国大会へ出場。



チームのどんなところが好き？

- ・いつでも元気がいっぱい。練習がとても多くて勉強になる。
- ・元気なところ。いつも笑顔。
- ・強いところ。がんばるところ。やさしいところ。
- ・みんなが協力しているところ。
- ・3～6年生まで異年齢のチームだけど、みんな仲がよく楽しい。
- ・いつも明るくて元気なところ。おもしろいところ。
- ・みんなが仲良くできるところ。やればできるところ。
- ・いつも元気なところ。注意し合えるところ。泣き虫だけど最後はしっかりがんばってくれるところ。

クラブ員を募集中！

お問合せ先：渡邊 幹彦さん
☎43-2913



取材を終えて

中筋小体育館を訪問した時、さっと駆け寄り一列に整列し、気持ちの良いあいさつをしてくれました。お話を聞くと3年生から6年生までの男子3人、女子5人の混合チームです。上級生が下級生を思いやっているのが、練習の中にも見られほほえましく思いました。現在府下に混合チームは9チームあり、前大会は準優勝でした。次の目標は優勝をめざし、ぜひ全国大会へと進んでほしいものです。

これからもバレーボールを通して、仲間を思いやる心、助け合う心、あきらめない気持ちを養っていきましょう。皆さんの成長を楽しみにしています。がんばれ！

編集／広報広聴委員会

- ◎ 吉崎 進
- 荒木 敏文
- 松本 幸子
- 片岡 英晃
- 井田佳代子
- 搦頭久美子
- 高橋 輝
- 森 義美



(◎委員長 ○副委員長)

議会改革の一環として議会活動の広報等を一層推進・充実するために、7月1日から「議会だより編集委員会」改め「広報広聴委員会」を設置しました。主な活動としては、議会だよりの編集や議会報告会の開催に関することなどです。

また6月議会からは、本会議の録画配信に加えてインターネット上でのライブ中継を開始しました。

まだまだ暑い日が続きますが、体調管理には十分気を付けてお過ごしください。

編集後記